

新体制になって初めての北海道道南会夏季懇親
会が、9月13日(土)午後12時30分より、東
京・日暮里のアートホテル・ラングウッド
5階ルーチエの間で開催されました。

懇親会には、来賓・会員53人が出席。

富岡信夫事務局長の司会で進められました。

会の最初に、司会者より、①新スタイルになった
会報誌の紹介②2025年道南会創立65周年迎
え、来年の新年総会・懇親会は周年企画を盛り込
んだ内容となる事を報告③亡くなられた会員の
皆さんをご紹介。ご冥福を込めて、国土館大学理
事長「大澤英雄さん」のご令嬢の手紙を読ませて

いただきました。④北海道ふるさと会連合会運営の「北海道産直フェア」のご紹介等。

夏季懇親会の開会となりました。

本間和吉会長が「新体制となり、新人会長ですが幹部一同で、道南会を盛り上げて行きたいと思っています。本日は大いに楽しんでいただきたい」と開会の挨拶を述べた。来賓として出席された函館市大泉潤市長が「函館市の観光産業はとても順調です。これまで観光客の平均 500 万人でしたが本年は 600 万人を超えました。海外便が増便となりとても期待できます。同時に、“ふるさと納税”に力を入れている。この“ふるさと

納税”を通じてお皆さん方からの多くのご寄付をお願いしている。皆様方のご協力をお願いしたい」と述べた。

松田昇道南会名誉顧問の「楽しさこそ道南会の基軸であること、まんず、あずましく楽しみましょう！！」とご挨拶とご発声で乾杯し、宴が始まりました。会場内の壁には、函館と大沼などの観光ポスターが貼られて雰囲気盛り上げていました。会場内の各テーブルでは、久しぶりにお会いした皆さんの多くの歓談の輪ができていました。歓談後、4人の新人紹介、さらに函館市から借用しました法被を着て、函館港まつりをBG

Mに皆さんが盆踊りをしました。

アトラクションでは、道南会の歌姫池田さなえさんが、歌謡ショーを行って、持ち歌の“函館ス Tepp”などを熱唱して会場内を盛り上げていました。また、今回の目玉は道南会会員増加対策の専門チームのご紹介です。東京で同窓会活動をしています各高校OBの会長・顧問の方たちよりご協力を頂くことになりました。

<ご紹介いたします>」

- 1：東京函商同窓会（商業高）会長道下佳拓
- 2：白楊ヶ丘同窓会（中部高）東京支部顧問白川正広
- 3：つつじヶ丘同窓会（西高）東京支部会長折田信一
- 4：関東青雲同窓会（東高）会長横井 透
- 5：函工同窓会関東支部支部長本間和吉

宴の半ば過ぎには、“青春時代”の替え歌で「道南時代」を全員で合唱しました。

そして、川瀬俊吉幹事が音頭を取って、北海道道南会へのエールを贈りました。

午後 2 時 30 分過ぎ、渡部良孝副会長が、閉会のあいさつを兼ねた“一本締め”を行って閉会しました。そして、令和 8 年 2 月 8 日(日)行われる「新年総会・懇親会」での再会を約束して散会しました。